

かつやま 議会だより

10月臨時会・12月定例会報告

2025.1.23

No.94



常任委員会報告…………… P 2

特別委員会報告…………… P 4

一 般 質 問…………… P 5

審 議 結 果…………… P11

常任委員会報告

● 総務文教厚生委員会

審査の結果、議案6件について全て可決し、陳情2件について、不採択としました。

◆ 第5次勝山市健康増進計画及び自殺対策計画(案)について

令和7年度から11年度までの5年間を計画期間とする両計画の案について説明がありました。委員会では、計画の内容や要点が、広く市民の目に留まるような工夫を求める意見がありました。

◆ 勝山市こども計画 (案) について

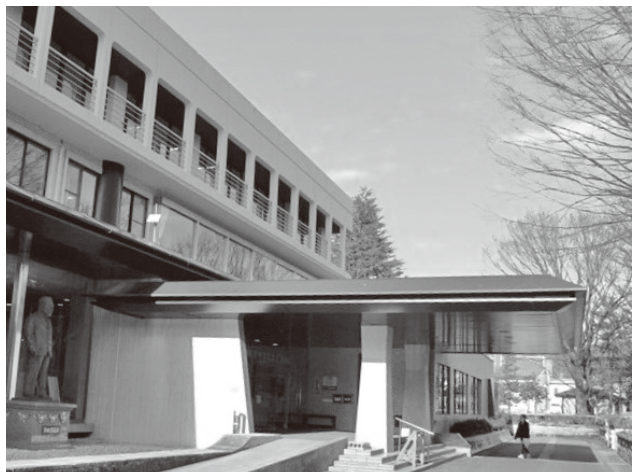
令和7年度から11年度までの5年間を計画期間とする計画案について説明がありました。委員会では、こども・若者の相談しやすい環境づくりや、結婚支援に向けた取組について、様々な議論がありました。

◆ 教育会館の改修について

教育会館の改修については、9月の委員会において、市内の他の施設での実施が可能か、比較を提示するよう求めました。

今委員会では、提示された教育会館、すこやか、ゆめおーれを比較した表を中心に議論いたしました。

教育会館で実施する場合、他の施設に比べ、面積が十分にあり、周辺施設との連携が図りやすいこと、土日の小学生の預かりをセットにすることで有利な財源も利用できることなどを勘案し、今後、教育会館を改修し、実施していくことを前提に市民に意見を求めていくこととなりました。



勝山市教育会館

● 建設産業委員会

審査の結果、議案3件について全て可決しました。

◆ 空き家利活用促進整備事業補助金について

現在この補助金を活用して本町1丁目の古民家を宿泊兼コワーキングスペースとして整備している事業の中間報告がありました。理事者からは、当該補助金は、総事業費の3分の2以内で最大1,500万円が補助され、内訳は国が2分の1、県と市が4分の1となっているほか、全国の建築学生約13名がSNSを通じて集結し当該空き家の改修を通じたまちづくりプロジェクトが行われているなどの説明がありました。

委員からはこれをモデルに広く事業をPRし、制度の周知をより徹底していくべき、補助事業の延長を国、県に要望していくべきといった意見が出されました。

◆ かつやま恐竜の森のオオタカ保全エリアの見直しについて

理事者からは、かつやま恐竜の森再整備・管理運営事業の宿泊施設の建設に伴い、専門家会議を開催した結果として、オオタカを含む希少動植物の保全エリアの再設定を行い、今後は現地調査を実施して対象種ごとの生息域のゾーニングを見直して、エリア等のブラッシュアップを図っていきたいという旨の説明がありました。

委員からは、過去の事例も含めて公園内の施設整備計画は、専門家の見解に基づいたものであったのか検証していく必要があるなどの厳しい意見が出されました。

◆ 地域に密着した事業委託によるふるさと納税の推進について

理事者からは、現在、市外事業者によるふるさと納税業務を委託しているため寄附金の一部が市外へ流出していることから、寄附金が市内経済に循環する仕組みの構築のために令和7年度から勝山商工会議所と勝山市観光まちづくり株式会社へのふるさと納税業務の委託を検討している旨、説明がありました。

委員からは、業務や現在取り扱っている商品等の引継ぎがうまくできるのかという懸念の声が上がり、先行事例の研究や、現行業者と新規事業者との3者協議を経て慎重に業務に当たるよう求める声が上がりました。

● 予算委員会

◆ 職員人件費【1,368万7千円】

人事異動及び人事院勧告に準じ、以下のとおり引き上げる。

1. 月例給 官民較差に基づく給料表を改定する（改定率平均3.0%）。若年層に重点を置きつつ、全ての号給で給料月額を引き上げる。

《参考：初任給》

採用区分	改定前	改定後	引き上げ額
高 卒	166,600円	188,000円	21,400円
大 卒	196,200円	220,000円	23,800円

2. 賞与 民間の支給割合に見合うよう0.1月引き上げ、年間4.5月から4.6月とする。

(1) 任期の定めのない常勤職員

年 度	手当区分	6月期	12月期
令和6年度	期末手当	1.225月	1.275月 (現行1.225月)
	勤勉手当	1.025月	1.075月 (現行1.025月)
	合 計	2.25月	2.35月
令和7年度	期末手当	1.25月	1.25月
	勤勉手当	1.05月	1.05月
	合 計	2.3月	2.3月

(2) 再任用職員

年 度	手当区分	6月期	12月期
令和6年度	期末手当	0.6875月	0.7125月 (現行0.6875月)
	勤勉手当	0.4875月	0.5125月 (現行0.4875月)
	合 計	1.175月	1.225月
令和7年度	期末手当	0.7月	0.7月
	勤勉手当	0.5月	0.5月
	合 計	1.2月	1.2月

3. 寒冷地手当

任期の定めのない常勤職員について、民間の同種手当の支給額を踏まえ、月額を11.3%引き上げる。

区 分	改定前	改定後	引き上げ額
世 帯 主 (扶養親族有)	17,800円	19,800円	2,000円
世 帯 主 (その他)	10,200円	11,400円	1,200円
その他の職員	7,360円	8,200円	840円

◆ 廃棄物対策諸経費【1,031万8千円】

ビュークリーンおくえつ基幹改良工事費の増額に伴い大野・勝山地区広域行政事務組合負担金が増額になりました。

委員からは「複数年度に亘る工事において物価スライドで追加の支払いをするのはどういう事か」という質問があり、それに対し理事者からは、「契約から1年経過したもの、物価上昇で契約時よりも工事費が上がった場合、1.5%以下は業者が負担し、それを超えた場合には追加支払い申請ができる」という答弁がありました。

(補正予算額) 1,031万8,000円

内訳

(市債840万円 / 一般財源 191万8,000円)

◆ 観光PR推進事業費【147万円】

恐竜押しグッズの整備、恐竜をデザインに用いたカラーコーンカバー、ビブス、恐竜着ぐるみ、恐竜パネルを購入します。

「日本一の恐竜のまち」として魅力を広くPRするため、新たなコンテンツとして恐竜グッズを整備し、勝山市への来訪者を恐竜がお出迎えできる体制を整えます。

今後は恐竜クロカンマラソンやパークアンドライドなどで活躍する予定であるほか、用途によっては市民への貸出をしていける様に検討を進めているようです。

◆ 新教科書採択による中学校教師用教科書及び指導書の購入【705万7千円】

福井県義務教育諸学校教科用図書採択奥越地区協議会において承認された、令和7年度から更新される教師用教科書及び教科書対応の指導書を購入します。

教師用教科書・指導書

(一部デジタル教科書付き)

597万4,000円 (中学校管理運営費)

デジタル教科書 (国、社、数、理、英)

108万3,000円 (中学校教育用コンピューター整備費)

● 決算特別委員会

認定第1号「令和5年度勝山市歳入歳出決算の認定について」を認定、認定第2号「令和5年度勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について」を可決並びに認定としました。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類感染症に移行、市民活動もコロナ前の状況に戻る1年となりました。

一方で高齢者雇用安定法及びその改正、年金受給年齢の引き上げなどの影響により、これまで地域の支え手であった方が激減し、地域活動、広域的に発生した水害等災害発生時や防災における共助の弱体化、市民活動の負担感の増加が露呈しました。

委員会ではこのようなことを念頭に審査しました。

今後の予算編成や執行においては、審査の過程で、その都度指摘した事項も含め、誠意を持って対応されるとともに、健全な財政運営を堅持しつつ、市民福祉の向上と活力あるまちづくりに向けて邁進されることを望みます。

◎歳入歳出決算について

1. 一般会計について

(1) 産業医及び識見監査委員等、月額・年額で定額報酬を支払う特別職については、業務量に応じた適正な対価となっているか検討されたい。

(2) 政府系借入が増加している一方で市中金融機関への借入は減少傾向にあることから、市内の金融機関とも協議を行い、市民の利便性確保のため、市内の支店が継続するよう努められたい。

(3) 資産形成のために一括交付する補助金については、後年に実態、効果が適正であるか検証されたい。

(4) 移住定住促進事業については、他自治体でも同様の支援があることが予想されており、補助金を含む支援については独自性のある施策を研究されたい。

(5) 実行委員会等に市が委託、補助するイベント事業については、実施団体と協議の上、事業の見直しを検討するとともに、事業主体となる会員等にも応分の支援を検討されたい。

(6) 国際交流事業については、異文化交流、教育環境の充実の側面にも注視しながら事業のあり方を再検討されたい。

(7) 結婚相談事業については、出会いの場の創出に加え、対象者が増える企画を検討されたい。

(8) 社会福祉協議会の支援については、使途区分を明確にした上で、適正な人件費が計上されているか確認されたい。

(9) 社会福祉法人指導監査の遅延により繰り越しが発生しているが、事務執行に滞りが生じることが市民福祉の向上を阻害する大きな要因

となる恐れがあるため、適正な執行について今一度確認されたい。

(10) 昨今の気象状況の変動等に鑑み、農業経営収入保険等の周知と加入促進に努められたい。

(11) 鳥獣害対策については、これまでの施策を検証し、有効な対策に結びつく対応を研究されたい。

(12) 観光関連事業については、施設の有効活用及び効果的な周知方法を改めて研究されたい。一方、交付金等を活用した様々な観光関連支援事業等が実施されたが、その効果の検証をされたい。

(13) 定住促進住宅はその設置目的が勝山市に居住し又は居住しようとする者で住宅に困窮している者に対して、定住支援を図ることにあることから、その運用の見直しを検討されたい。また、高齢化により、希望する住環境にも変動があることから、今後の市営住宅を含めた住宅支援について研究されたい。

2. 下水道事業特別会計決算について

(1) 令和5年度決算を最後に特別会計から企業会計に移行するが、水道事業会計同様、適正な費用負担、管渠の耐震化の推進に努められたい。

◎水道事業会計決算について

(1) 水道事業については、平成22年以来の赤字決算になっており、今後もこの傾向は続くことが予想されることから、料金制度審議会等において適正な費用負担のあり方について研究されたい。

(2) 管渠の耐震化について、今後も積極的な推進に努められたい。

● 新中学校建設特別委員会

市長選挙を控えた9月定例会で継続審査となっていた勝山市立中学校建設工事（地下横断歩道建設工事）請負契約の締結については、12月11日の本会議で可決されました。

12月17日の委員会では、まず、新中学校の入札不調について報告がありました。

次回の入札に向けて、報告内容には限りがあり、次回の入札の結果を受けて、再度協議を行うこととなりました。

委員会では、長く使う施設であるため、積算の見直し等が品質の低下につながらないように、要望がありました。

また、各種協議会や委員会等の開催状況、実際に新中学校に通うことになる子ども達の交流会、保護者への説明会について報告がありました。

今後も勝山市の将来を担う子ども達一人ひとりが、いきいきと活動できる、安全安心な学校が建設できるよう、今後とも議論を重ねてまいります。

勝山市立中学校再編進捗情報

各委員会等の開催や保護者説明会の開催状況など、勝山市立中学校再編進捗情報は勝山市HPよりご覧いただけます。



勝山市HP

● 10月臨時会

10月25日の臨時会では、勝山市一般会計補正予算に関する専決処分の承認と、財産の処分について審議され、承認、可決されました。

財産の処分は、令和6年3月末に閉園になった平泉寺保育園、野向保育園の両園です。これらの施設は今後も市で利用する見込みがなく、民間事業者に有効活用していただき、市の財政負担の軽減と地域の活性化を図る予定です。

なお、民間に移行された施設は、それぞれカフェ・民泊等及び社会福祉事業に活用される予定です。

一般質問 議：議員／理：理事者

- 教育会館等の中性化試験について
- 児童センターについて

その他の質問

- ・ ジオパークについて
- ・ 雪害対策について



吉田将克 議員



議 建造物のコンクリートを調査する中性化試験は築年数等で行う等の基準があるのか。また、市が管理している教育会館等の公共施設について中性化試験は今後行う予定はあるのか。

理 市では中性化試験の実施基準を設けていない。しかし昨年度、市役所周辺施設の集約化を議論する中で、老朽化した施設の使用に関して多くの懸念が寄せられたことを受け、本庁舎の中性化試験と圧縮強度試験を実施した。結果、今すぐに建替え検討しないといけない段階にはないことを確認した。市民会館や教育会館についても圧縮強度試験を行っており、耐震補強工事が済んでいることや本庁舎より新しい施設であることから、現時点では中性化の問題はないと考えているが、教育会館は多世代が利用できる施設への改修を計画しており、利用者の安全・安心を担保するためにも、来年度以降の設計業務や改修工事に併せて中性化試験の実施を検討したいと考えている。

議 放課後児童支援員は児童おおむね40人毎に2人以上（内1人補助員可）とされているが、各児童センターにおいて、放課後児童支援員及び補助員は何人在籍し、夏休み等の長期休暇は何人増員して対応しているのか。

理 令和6年度、市内9か所の児童センターには666人が登録しており、放課後児童支援員及び補助員は計33人在籍している。各センターには2～6人の職員が勤務し、有資格者は2人ずつ配置されている。また荒土など4施設にはシルバー人材センターからの派遣を1人ずつ配置している。長期休暇には同人材センターからの派遣を6施設に1人ずつ配置し、村岡など3施設には派遣と会計年度任用職員を各2人増員して対応を行っている。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 自動運転バス運行について
- 農業機械の貸し出しについて

その他の質問

- ・無人駅を利用した展示場所開設について
- ・図書館の有料宅配サービスや電子書籍サービスの導入について
- ・修学旅行費用への補助について



市政会 下道恵子議員

議 タクシーやバスの運転手が不足してきている。永平寺町では未来のバスとして観光用に国内初の無人自動運転サービス（レベル4）を運行中であり、石川県小松市でも令和6年の3月より小松駅から小松空港まで自動運転レベル2（オペレーター付き）でバス運行を始めた。市も今後のために自動運転バス運行を検証していく予定はないか伺う。

理 自動運転技術は高齢者をはじめ市民の移動手段の確保や運転手不足の解消、物流の効率化、交通安全の確保など多様な課題解決に有効であると認識している。市でも永平寺町の自動運転をバックアップしてきた産業技術総合研究所から話を聞くなど情報収集を行っている。今後も自動運転に関する技術開発状況に注視し、導入も視野に入れた研究を進めていく。

議 離農を決意する理由の一つに農業機械が古くなって壊れた時に新しい農業機械が高額で買えないからという理由がある。後継者がいないとなおさらである。そんな小規模農家の離農を抑止しようとトラクターや田植え機・コンバインなどの農業機械の貸し出し事業をしている自治体があるが、市でも農業機械を貸し出しする事業を検討しないか伺う。

理 市では米作り農業の集約化を進め、生産効率を高めることで稼げる農業を目指している。一方で、人口減少や高齢化により地域コミュニティの弱体化が懸念される中、農村集落の維持には小規模兼業農家の存続も必要と考える。近年、農機具メーカーによる農機シェアリングサービスが普及してきており、市でも現状の草刈機貸し出し事業に加え、当該サービスとの連携や賃借料支援事業を検討してまいりたい。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 勝山中学校について
- 災害時の高齢者等支援について

その他の質問

- ・少子化問題について



森 かよ子議員

議 勝山中学校について様々な質問がされ、それにより再編計画も当初より変更になった点がある。今現在の最新の情報として、校舎、給食室、地下横断歩道それぞれの、国、県の補助金と市負担の予算を伺う。

理 令和6年3月の予算委員会等で説明のとおり、令和8年度までの継続費として、約43億5,000万円を見込んでいる。校舎等の建設については、文科省と国交省の補助金を合わせて約21億3,600万円、市債で約17億4,600万円、一般財源で約4億2,500万円となっている。当初予算時には校舎と給食室は一体的な建設を想定していたため合わせて約37億5,000万円、そのうち文科省と国交省の補助を合わせて約19億7,000万円、市債は約16億円、一般財源は約1億8,000万円。地下横断歩道の建設事業費は約4億5,000万円、このうち国交省の補助として約1億4,000万円、市債が約1億2,000万円、一般財源で約1億9,000万円。ただし、文科省の建築単価の見直しにより、補助金が増額となったこと、市債については、過疎対策事業債が別枠で満額配分されることから、市の負担は大幅な減額となること、給食室を別棟として建設することなどから、今後の補正予算において財源の組み替えを行わせていただきたい。

議 高齢者の生活支援サービスは、市町村を核とした支援体制の充実、強化が必要になり、民間とも協働して、支援体制を構築しなければならないと考える。個別支援計画はどのように策定し、要援護者は災害時に取り残されることがないシステムになっているか伺う。

理 毎年世帯ごとに申請いただき計画を作成している。申請書の親族・避難支援者緊急連絡先欄に近所の方の記載がなく、親族や同居家族のみ記載の方が多い。今後は区長会で制度の趣旨も含めて、お互いに助け合い、一緒に避難していただけるような近隣の方も記載いただきたい旨を説明していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

● 教育会館、中央公園の改修に向けた展望や戦略について

その他の質問

- ・ 移住希望者へのPR について
- ・ フルデマンドバスの利便性について
- ・ 防災や福祉を担っていく、まちづくり会館のあり方について



浦上雄次 議員



議 市は「勝山市役所周辺施設ファシリティアネジメント」として教育会館、中央公園の改修計画を進めているが、展望や戦略について市の見解を伺う。

理 市の人口減少が進む中、人口規模に見合った公共施設の最適化を進めている。教育会館は市の中心市街地に位置し、中央公園や勝山サンプラザ、図書館など周辺施設と連携しやすい立地であるため、将来の都市構想を描くためにも重要な場所となる。教育会館には、全天候型の子どもの遊び場や子育て支援センター、児童の預かり機能を整備することで、相談窓口であるこども家庭センターと一体的な支援を行い、子育て世代が利用しやすい環境を構築する。またフリースペースの設置や、勝山まちづくり会館があることで子どもから高齢者まで利用できる場となり、多世代の交流活動が楽しめる施設になると期待している。

中央公園のリニューアルについては、中心市街地の賑わい創出を目的に、多くの世代が集う市民の憩いの場となるよう整備していきたい。具体的には、樹木の伐採や生垣の撤去によりオープンな公園とし、約40台程度の駐車場を設置したいと考えている。また、隣接するサンプラザや教育会館と連携し、施設全体の利便性と魅力向上を図りたい。

改修費用は教育会館が約4億6,000万円、中央公園が約2億4,800万円である。国の都市構造再編集支援事業で約2億7,400万円、県のこどもの遊び場整備事業で約1億円の補助金を見込むほか、利用可能な補助制度を活用することで、最大限市の財源負担の軽減に努めていく。市民の意見をお聞きしながら、令和9年度の供用開始に向け整備を進めていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

● 地方への流れを生む「二地域居住」促進について ● 「重点支援地方交付金」の使途について

その他の質問

- ・ 水上新市長に選挙結果の受け止めと、そして公約の実現の取り組みと今後の市政運営について
- ・ 子宮頸がんワクチンの「定期接種」と「キャッチアップ接種」の期間延長について
- ・ トイレカーとシャワーカーの導入について



新風会・公明 安岡孝一 議員



議 都市と地方などに生活拠点を持つ「二地域居住」を促進する制度創設を盛り込んだ改正広域的地域活性化基盤整備法が一部改正され、11月1日施行された。希望する人が二地域居住を始めやすくなるよう市町村が促進計画を策定できる仕組みを新設し、住居や職場環境の整備に対して財政支援を行うことが柱となっている。若者や子育て世帯を中心に、地方への人の流れを創り拡大し、地域の活性化を図るのが狙いである。新たに施行された改正広域的地域活性化基盤整備法を活用して勝山市への移住・定住の促進を図ることを検討してはどうか。市の所見を伺う。

理 今回の法改正は新たな生活スタイルに対応するもので、地方創生に大きな追い風となる。市では子育て世代の負担軽減策を推進しており、今後も先進的な施策を展開し、出産・子育て世代に選ばれるまちを目指す。県や関係機関と連携し、二地域居住をきっかけに移住定住の促進につなげていく。

議 物価高を上回る賃上げの流れをつくり、生活者の暮らしを豊かにするため、政府は事業規模39兆円程度の総合経済対策を決めた。この経済対策には、自治体が独自の物価高対策に使える「重点支援地方交付金」の一層の追加がされている。物価高の影響を受けているのは一部の方だけでなく全世代がその影響を受けている。この「重点支援地方交付金」を全世代への物価高対策となるよう検討いただきたいと考えるが、市の所見を伺う。

理 交付金の額は未定であり、現時点で活用方法は決まっていないが、幅広い世代に必要な支援を柔軟かつ効果的に進めていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- まちづくり会館の職員のあり方について
- 廃校廃園による備品の管理や取り扱いについて



富士根信子議員



議 まちづくり会館で働く会計年度任用職員は、地域住民との協働を円滑に行うためには情報や知識が必要である。地域住民と直接関わる職員はその地域住民が職員として採用されているならばそのほうが最適であり、防災においても住民の安全・安心なまちづくりにつながる。まちづくり会館の職員のあり方と地域住民との協働についてどのようにあるべきか伺う。

理 まちづくり会館職員の採用は、本庁等の会計年度任用職員と同一基準で行い、特定地域での勤務を前提とした採用や配置はしていない。職員の異動は適材適所や人材育成、組織の活性化に必要であり、地域や本人の成長の観点からも適切であると考えている。一方で、地元を良く知る職員の配置は望ましい面があり、他地区在住の職員が複数配置されている現状を踏まえ、新年度の異動などで最低1人以上地元職員の配置を検討していく考えである。

議 今後南幼稚園の廃園や中学校の統廃合が予定されているが、多くの備品はどのように保管管理され、取り扱う予定であるか。卒業生や地域の方々から寄贈された備品について何か特別な対応を考えておられるか伺う。

理 幼稚園や中学校の備品は、市の財産管理規則に基づき備品台帳に登録し、適正に管理している。統廃合時には、新施設での使用、他の公共施設への譲渡、廃棄のいずれかに区分し、計画的に対応する。卒業生や地域の方々から寄贈された備品についても同様に台帳で管理しており、卒業生の記念品や銅像、記念碑等の廃校後の取り扱いについては、現在各中学校の同窓会や学校で話し合われている。これらの思い出の品は、卒業生や同窓会などの意向を尊重しながら対応を検討していく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 雪対策について
- 中高生が集まってコミュニケーションを取れる場所について



石垣智史議員



議 長山町の消防署横、市道6-81号線では除雪作業が遅く、生活道路の安全確保が課題である。特に消防署隣接のため、緊急車両の通行を確保する消雪装置の設置が必要ではないだろうか。市としての考えを伺う。また町中では水路の水が流れず、屋根雪下ろし業者や緊急車両が通行困難になる状況がある。この問題に対し、市として具体的な対応策や今後の計画を示されたい。

理 市では、除雪機械による除雪を基本とし、幅員が狭く雪押し場が確保できない場合で水量が確保できる場合には、消雪装置で対応している。市道6-81号線は幅員4.5m以上で除雪機械が作業可能なため、機械除雪を行っている。積雪の状況、道路の混雑度、雪押し場の状況により作業スピードは変わるが、道路交通の確保を目的として作業を行っている。水路については水の使用の実態や地域の同意など課題が多いが、狭小路線や水路のない地域の除雪活動を支援するため、除雪機械の貸与など自助・共助を支援する各種制度を実施している。市民が冬期間も安心して生活できる施策を実施していく。

議 福井市に比べ勝山市では中高生が気軽に集まり交流できる場が少ないとの声がある。市として、交流スペースの整備や地域住民・民間企業との連携による新たな施設設置の考えを伺う。

理 市では教育会館の改修計画にあたり、10月にスクールミーティングと題し市内の中高生から、若者視点での意見を伺った。その中には「若者が行く場所がない」との声も多くいただいた。教育会館、中央公園の一体的改修を1年先送りして、中高生を含む市民からの意見をお聞きし、市内事業者、地域、団体等の協力をいただきながら中高生の居場所づくりに努めていく。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 労働人口の確保に向けて
- ジオパークの認定について



QRコード

市政会 帰山寿憲 議員

議 勝山市の労働人口の確保及び職場環境、労働力の質の向上に向けての対策や支援が必要ではないか。

理 令和6年10月時点の奥越地域の有効求人倍率は1.79倍と高く、地域全体の労働力不足は深刻である。市では女性の就労環境整備への注力や、医療・介護・障害福祉分野での人材確保奨励金による人材確保への取組を行っている。今後さらに市の「ふるさと回帰U・Iターン奨励金」制度の拡充を検討し、外国人の移住促進を図り、移住者の市内事業所での雇用機会拡大を進めていく。

また労働力や職場環境の質の向上として、従業員のスキルアップへの取組支援の実施や、短時間勤務制度やリモートワーク導入支援にも注力したいと考えている。地域特性に応じた施策を展開し、地域経済全体の活力を高めていきたい。

議 ジオパークの継続について、過去の経緯、方向性から見て十分な考慮が必要ではないか。

理 市では、恐竜資源を活用した地域づくりを進めており、恐竜・恐竜化石を中心にジオパーク活動を進めてきたが、令和5年秋の再認定審査では条件付き再認定となった。日本ジオパーク委員会による4年に1度の再認定制度は活動の方向性を見直す有意義な仕組みであるが、過去の審査で改善が認められた課題の再指摘や、審査側との認識のズレ等が課題となっている。これらの状況を踏まえ、認定の維持に固執するのではなく、恐竜や地質を中心とした地域資源を活かし、市独自の魅力発信を進める方針も視野に入れている。今年度内に協議会で方針を決定し、地域づくりに資する取組を継続していく考えである。

一般質問 議:議員/理:理事者

- 「観光の産業化と起業を支援」について
- 「若者のまちづくり活動支援」について

その他の質問

- ・「高齢者の暮らしやすいまち」について
- ・「新中学校の充実と周辺整備」について



QRコード

李 江嵐 議員

議 県立恐竜博物館がある恩恵をどう市民に還元するか、見える化をするかが課題。市外客の駐車場有料化やパークアンドライドの有料化を実現する時の課題とその解決について伺う。また、既存の事業と今以上の起業支援というイメージについてと、今後の事業継承、後継者探しの支援についてどの様に考えているか伺う。

理 恐竜博物館駐車場の有料化は、交通渋滞や市民利用者からの料金徴収といった課題を考慮しつつ、指定管理者と協議を進める。パークアンドライド有料化も人件費等の課題を含め検討中である。起業支援は補助金制度や伴走型支援を通じて実施し、事業承継では商工会議所や福井県事業承継・引継ぎ支援センターと連携。来年度からは福井県よろず支援拠点と協力し、市内事業所を巡回する相談体制を検討している。

議 ファシリテーター派遣など国の支援を活用し、子ども・若者の声を反映させる施策を行うことに対する考えを伺う。また、「こども計画」の策定状況の進捗と、策定に際して行った子ども等の意見の反映の具体的手法、その内容を伺う。こども家庭庁の「こども・若者☆いけんぷらす」のチラシを市内の小中学校で配り、「意見を出してまちづくりに参加する素地」を醸成してほしい。チラシの配布を検討できるか伺う。

理 ファシリテーター派遣制度は活用を研究していくが、教育委員会では教育監や担当職員が意見集約に努めている。「こども計画」は審議会での審議を経て計画案を作成中であり、今議会での素案説明やパブリックコメントを予定している。また県のwebアンケートや市独自で聞き取った中高生の意見を関係各課と情報共有すると共に計画に反映している。「こども・若者☆いけんぷらす」のチラシは市内小中学校で配布し、PRを進める。

一般質問 議:議員/理:理事者

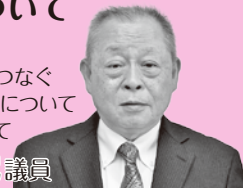
- 安全で安心して住めるまちについて
- 会計年度任用職員について

その他の質問

- ・2期目に向けた公約「未来につなぐ 楽しい笑顔のまち勝山を創る」について
- ・「103万円の壁」について



市議会 近藤栄紀議員



議 子どもから高齢者まで集えるコミュニティの場としてまちづくり会館の充実と、その利用をどのように考えているか市長の見解を伺う。

理 まちづくり会館は交流拠点や福祉、防災拠点として位置づけ、幅広い世代が気軽に利用できる施設を目指している。現在、高齢者向けには、サークル活動のほかフレイル予防体操やスマホ教室を実施し、生きがいの場を提供している。今後、各まちづくり会館の大規模改修を予定しており、地域住民の要望を反映するとともに、バリアフリー化を進めて使いやすい施設になるよう配慮していく。また、導入予定のAIフルデマンドバス等の運行により、会館を地域間をつなぐハブとすることで、地域コミュニティの場として充実させていきたい。

議 まちづくり会館職員は一人を除いて全て会計年度任用職員である。区長、各種団体、町民の対応、行事の企画実施など様々な業務がある。この様な中、以前のように正職員を駐在させたり、待遇改善を図ってはどうか。

理 まちづくり会館職員については、再任用職員や会計年度任用職員も含めて全ての職員を全体で捉え、適切に配置していく必要がある。まちづくり会館には今後、防災も含む様々な役割が増すため、正職員や再任用職員の配置も検討する必要があると考える。待遇改善については、令和5年度から手当を支給し、人事院勧告に基づいた給与改定も実施している。今後も引き続き、会計年度任用職員の適切な処遇に努めていく。



一般質問 議:議員/理:理事者

- 中学校は「市長選の結果を踏まえて判断する」ことについて
- 中学校建設工事の入札不調の対応について

その他の質問

- ・勝山市長選挙の結果から考えるべき課題について



日本共産党 山田安信議員



議 選挙後、市長は「4年間は政策的に間違っていないと考えるが、政策の進め方や説明の方法など、もっと時間を取る必要がある」と述べているが、校舎の入札不調で着工前に話し合いをする「時間を取る」ことが可能になった。市民理解が得られない原因は、次々と指摘される問題を解決するには勝高敷地に固執しない検討が必要なのに「もう決まった」と思考停止して強行する、だから、市民の理解を得るには「勝高に固執しない検討」が必要。市長の「原因分析が間違っている」から「対策」になっていない。そうは考えないか、見解を伺う。

理 中学校再編については、市民や保護者、生徒、教職員など多くの意見を伺い、再編準備委員会や議会での協議、議会の判断をいただきながら進めてきた結果が現在の状況である。今後も市民への丁寧な説明に努め、課題解決に向けて議会や関係者の協力を得ながら、子ども達が安心安全な環境の中で充実した学校生活を送り、主体的・自主的に活動できる学校となるよう準備を進めていく。

議 「応札額は予定価格を6億円も上回っている」との指摘もあるが、①工事費は増やさない②大階段を削る等の設計変更を検討する③市民負担を増やさない、この原則を市長は堅持するか。

理 入札結果の内容は市としては公表していない。入札中止の原因の1つは資材価格の高騰や人件費の上昇である。予算内で校舎の仕様見直しを検討し、やむを得ず予算増額となる場合でも最小限となるよう努力する。設計変更では校舎面積の削減は行わず、仕様見直しを検討している。新中学校建設事業費の市の負担額は補助金を活用することで実質的に約15%であり、事業費変更時には有利な市債や補助金を最大限活用し、市の負担を最小限に抑えるように努める。

臨時会審議結果一覧

★ 議員提出議案
■ 表決を行ったもの

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
議案第40号	財産の処分について	総務文教厚生	可 決
議案第41号	令和6年度勝山市一般会計補正予算(第3号)に関する専決処分の承認を求めることについて	予 算	承 認

定例会審議結果一覧

議案番号	議 案 名	付託委員会	議決結果
認定第1号	令和5年度 勝山市歳入歳出決算の認定について(継続審査事件)	決 算	認 定
認定第2号	令和5年度 勝山市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について(継続審査事件)	決 算	可決並びに認定
議案第34号	勝山市立中学校建設工事(地下横断歩道建設工事)請負契約の締結について(継続審査事件)	新中学校建設	可 決
議案第42号	令和6年度 勝山市一般会計補正予算(第4号)	予 算	可 決
議案第43号	令和6年度 勝山市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	可 決
議案第44号	令和6年度 勝山市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	可 決
議案第45号	令和6年度 勝山市介護保険特別会計補正予算(第3号)	総務文教厚生	可 決
議案第46号	令和6年度 勝山市水道事業会計補正予算(第2号)	建 設 産 業	可 決
議案第47号	令和6年度 勝山市下水道事業会計補正予算(第2号)	建 設 産 業	可 決
議案第48号	令和6年度 勝山市市有林造成事業特別会計補正予算(第2号)	建 設 産 業	可 決
議案第49号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	総務文教厚生	可 決
議案第50号	勝山市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第51号	勝山市職員の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	可 決
議案第52号	勝山市監査委員の選任について	—	同 意
議案第53号	勝山市副市長の選任について	—	同 意
★議案第54号	勝山市議会の個人情報の保護に関する条例の一部改正について	—	可 決

◆ 請願・陳情

受理番号	要 旨	付託委員会	議決結果
陳情第2号	訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行うことを求める陳情書(継続審査事件)	総務文教厚生	不 採 択
陳情第4号	教員の長時間労働の抜本的改善を求める意見書提出に関する陳情	総務文教厚生	不 採 択

◆ 表決結果 ※意見が分かれた案件については、電子表決システムを使って記名投票を行っています。

【10月臨時会】※継続審査とすることの賛否をはかり(※1)、賛否同数により議長採決で否決となったため、原案の賛否(※2)をはかりました。

議 案 番 号	総投票数	投票数	李	吉	浦	森	安	冨	下	近	下	丸	帰	山	松
		賛成票	反対票	江	田	上	か	岡	根	牧	藤	山	山	田	山
				嵐	将	雄	よ	孝	信	一	栄	忠	寿	安	信
議案第40号 ※1	12	6	6	○	○	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○
議案第40号 ※2	12	8	4	○	×	○	○	○	×	×	○	○	○	×	議長

【12月定例会】

議 案 番 号	総投票数	投票数	石	李	吉	浦	森	安	冨	下	近	下	丸	帰	山	松
		賛成票	反対票	垣	江	田	上	岡	根	牧	藤	道	山	山	田	山
				智	嵐	将	雄	孝	信	一	栄	恵	忠	寿	安	信
認定第1号	13	11	2	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	議長
認定第2号	13	12	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	議長
議案第34号	12	8	4	○	不	○	○	×	○	×	×	○	○	○	×	議長
陳情第2号	13	5	8	○	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○	議長
陳情第4号	13	3	10	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	議長

○=賛成、×=反対、不=不在、除=除斥、議長=議長職(通常は採決に加わらない)

新議員紹介



石垣智史
(旭毛屋町)

12月1日付で新たに勝山市議会議員となりました。
12月定例会において石垣智史議員は、議会運営委員会、総務文教厚生委員会、予算委員会、新中学校建設特別委員会の委員となりました。

編集後記

市民の皆様、新年あけましておめでとうございます。議会広報誌を本年もよろしくご愛読のほどお願いいたします。

さて、昨年は衆議院選挙、市長選挙、市議会議員補欠選挙と選挙に関与する人にとっては大変な思いをした令和6年だったと思います。12月議会も平常裡に終え、3月議会の会期日程も決まり、市役所内では令和7年の当初予算案作成に大忙しの今日この頃です。

今年は雪の多い年ですが、県内外から多くのスキーヤーやスノーボーダーを迎えて喜んでいるスキージャンプ勝山は別ですね。私も今シーズンは何度か足を運んでみようと思っています。

(丸山忠男 記)

さあ！ 勝山しか勝たん山！



さあ！
勝山しか、
勝たん山。



さあ！
勝山しか、
勝たん山。



さあ！
勝山しか、
勝たん山。



さあ！
勝山しか、
勝たん山。



さあ！
勝山しか、
勝たん山。



さあ！
勝山しか、
勝たん山。

明けましておめでとうございます。
今年度は市制70周年ということでキャンペーンを実施しています。

そのキャンペーンのキーワードが「さあ！勝山しか勝たん山」です。「さあ！勝山しか勝たん山」とは、若者を中心に流行っている「推し活」で使われる「〇〇しか勝たん」という自分の気に入っているものをオススメしてPRする言葉を取り入れてデザインされたものです。

今年度は新たにデザインされた「さあ！勝山しか勝たん山」を軸に勝山をPRしはじめた最初の一年です。この機会にできたロゴなどのデザインは市外へのアピールの様に感じられてしまっていますが、実は「勝山の住民が一丸となって勝山を盛り上げていく起点となる様に」という想いが込められています。

市制70周年を終えたあともロゴなどのデザインは継続して使えるものと聞いていますので、今年もこうしたデザインも活用しながら勝山市が一丸となって盛り上がっていくような取り組みを模索して参りたいと思います。
(李 江嵐 記)

議会日誌

10月25日 議会運営委員会、10月臨時会本会議、予算委員会、総務文教厚生委員会、全員協議会、新中学校建設特別委員会
26日 北谷町敬老会
27日 勝山産業フェア
28日 国道416号小松・勝山間整備促進期成同盟会令和6年度総会、第45回森林・林業・木材産業活性化大会
29日 福井県市町議会議員合同研修会
30日 千葉県芝山町議会行政視察受入、勝山市防犯隊「秋季錬成大会」
31日 青森県平内町議会行政視察受入
11月 1日 決算特別委員会
2日 かつやまWakuWaku文化フェスタ・第60回勝山市民総合文化祭、勝山市文化協会創立60周年記念表彰式
3日 勝山市表彰式
5日 決算特別委員会
7日 暴力追放福井県民大会、令和6年度地方行財政・金融講演会
8日 決算特別委員会、勝山市雪害対策会議
10日 北谷町文化祭
11日 山形県南陽市議会行政視察受入
12日 山形県米沢市議会行政視察受入
13日 北海道音更町議会行政視察受入
14日 山梨県中央市議会行政視察受入
15日 決算特別委員会、中部縦貫・北陸関東広域道路建設促進同盟会総会
16日 青少年健全育成福井県民大会
17日 大蓮寺川 元禄線放水路完成イベント
19日 福井県市議会議長会議員研修会
20日 建設産業委員会、全員協議会、議会運営委員会
21日 福井県市議会議長会 中央要望活動
22日 福井県後期高齢者医療広域連合議会定例会
23日 永年勤続優良従業員表彰式
12月 3日 議会運営委員会
4日 本会議、全員協議会、新中学校建設特別委員会、議会運営委員会
5日 「第76回人権週間」街頭啓発
6日 勝山市高齢者連合会ふれあい祭り、年末特別警戒への督励

7日 スキージャム勝山スキー場開き
10日 本会議（一般質問）、議会運営委員会
11日 本会議（一般質問）、新中学校建設特別委員会、全員協議会、本会議、議会広報特別委員会
12日 総務文教厚生委員会
13日 建設産業委員会
16日 予算委員会、議会広報特別委員会
17日 決算特別委員会、新中学校建設特別委員会、議会運営委員会
20日 建設産業委員会、全員協議会、本会議
23日 勝山・永平寺衛生管理組合議会、モンゴル国南ゴビ県議会視察団受入
24日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会
1月 8日 議会広報特別委員会
11日 消防出初式、勝山市食生活改善推進員協議会交流会「新春のつどい」
14日 議会広報特別委員会
15日 鯖江市制70周年記念式典
16日 第2回ジオパーク推進協議会
17日 勝山市赤十字奉仕団新年懇親会、勝山市医師会新年会
18日 野向町年賀式

モンゴル国の県議会が来訪されました



世界有数の恐竜化石発見地であるモンゴル国南ゴビ県の県議会代表团の方々が、福井県立恐竜博物館の視察のために来日され、12月23日に勝山市役所にて、市長および議長と意見交換を行いました。

《議会広報特別委員会》

委員長 丸山 忠男 副委員長 李 江嵐 吉田 将克 浦上 雄次 富士根 信子

発行：勝山市議会 〒911-8501 福井県勝山市元町1丁目1-1 TEL 0779-88-8100(直通)

編集：議会広報特別委員会 <URLアドレス> <http://www.city.katsuyama.fukui.jp/>

<Eメールアドレス> gikai@city.katsuyama.lg.jp



議会中継動画